

企業アクション調査と大同生命サーベイによる

# 企業での検診受診率と 実施率に関する報告

令和3年度 がん対策推進企業アクション 推進パートナーアンケートによる職域でのがん検診受診率 及び  
令和2年度・3年度 がん対策推進企業アクションと大同生命サーベイの共同調査による がん検診の実施率に関する報告



# 令和3年度 がん対策推進企業アクション推進パートナー アンケートによる職域でのがん検診受診率

毎年度末に、推進パートナー企業・団体の現状について把握し、今後のがん対策推進企業アクション事業の取り組みの参考とするため「がん検診受診率の現状調査、がん検診推進の取組み、及びがん患者の就労支援の実態調査（WEB アンケート）」を実施している。

企 業		社数 (占率)
全 体		562 (100.0)
業種	製造業	127 (22.6)
	建設業	42 (7.5)
	卸・小売業	61 (10.9)
	サービス業	302 (53.7)
	その他	30 (5.3)
	無回答	0 (0)
従業員 規模	0~20名	147 (26.2)
	21~100名	155 (27.6)
	101~500名	136 (24.2)
	501~1000名	33 (5.9)
	1001~5000名	60 (10.7)
	5000名以上	31 (5.5)

## ■ 調査対象

『がん対策推進企業アクション』推進パートナー企業・団体:1836社

## ■ 調査期間

2021年12月~2022年1月

## ■ 回答数

704社 (回答率 38.3%)

企業 562社 (回答率 36.1%、回答数に占める割合 79.8%)

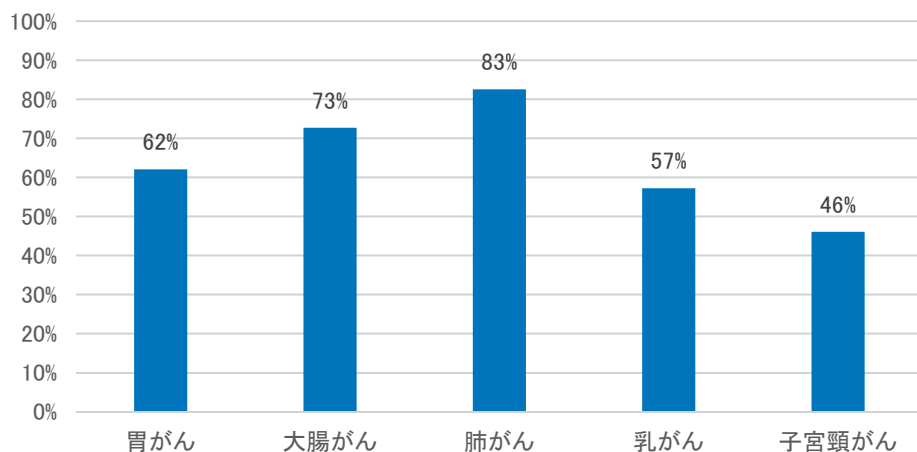
健康保険組合 142社 (回答率 50.5%、回答数に占める割合 20.2%)

健 保		団体数 (占率)
全 体		142 (100.0)
従業員 規模	0~20名	12 (8.5)
	21~100名	3 (2.1)
	101~500名	5 (3.5)
	501~1000名	13 (9.2)
	1001~5000名	53 (37.3)
	5000名以上	56 (39.4)

# 調査結果 がん検診の受診率

**設問** 国が推奨する5つのがん検診について貴社・貴団体における直近の年度の検診受診率をご記入ください。

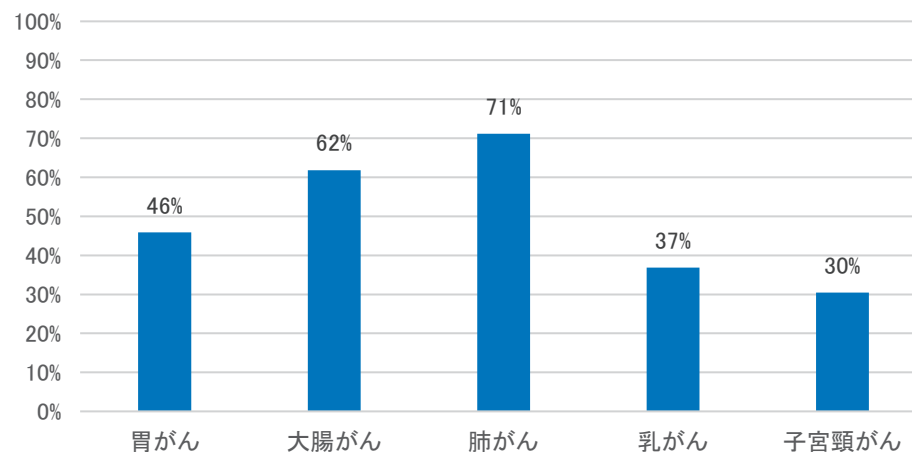
## 企業 受診率



	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
0~20名	71% (86)	67% (81)	72% (82)	72% (79)	66% (81)
21~100名	70% (62)	74% (63)	82% (60)	55% (62)	53% (60)
101~500名	64% (62)	76% (61)	81% (59)	62% (46)	48% (43)
501~1000名	60% (18)	72% (18)	91% (19)	61% (17)	46% (16)
1001~5000名	65% (36)	76% (37)	94% (38)	61% (36)	51% (36)
5001名以上	61% (21)	71% (21)	79% (22)	55% (19)	44% (18)
全体	62% (285)	73% (281)	83% (280)	57% (259)	46% (254)

※規模別受診率 ( ) 内は有効回答数

## 健保 受診率



	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
0~20名	83% (6)	88% (6)	100% (4)	68% (5)	90% (4)
21~100名	100% (1)	90% (1)	100% (2)	51% (1)	NA (0)
101~500名	65% (2)	71% (3)	100% (1)	45% (3)	44% (3)
501~1000名	60% (6)	66% (4)	89% (4)	37% (2)	32% (3)
1001~5000名	63% (31)	76% (32)	88% (27)	51% (30)	43% (30)
5001名以上	43% (36)	60% (40)	69% (34)	35% (37)	29% (37)
全体	46% (82)	62% (86)	71% (72)	37% (78)	30% (77)

※規模別受診率 ( ) 内は有効回答数

※特定のがん検診受診率のみ把握、回答している企業 / 団体があるため、各がんで有効回答数は異なる

# 令和2年度・3年度がん対策推進企業アクション大同生命サーベイ 共同調査によるがん検診の実施率と受診率に関する報告

「大同生命サーベイ」は大同生命保険(株)が毎月実施している中小企業経営者へのアンケート調査。定例の景況感調査に加え、時宜にかなうテーマを設定のうえ、全国の中小企業経営者を対象に実施。アンケート調査は、訪問での雇用主に対するヒアリングを基本としているが、コロナ禍でもあるため、「電話」「郵送」「メール」でも適宜対応。

- 調査対象：令和2年度全国の企業経営者 10,953社 令和3年度全国の企業経営者 7,946社
- 調査期間：令和2年度 2021年2月1日～2月26日 令和3年度 2022年1月5日～1月28日
- 調査方法：大同生命営業担当者による、訪問やオンラインを活用した対面調査
- 調査内容：定例：景況感 個別テーマ：中小企業のがん対策（本資料出典元）

令和2年度		社数(占率)
全体		10,953 (100.0)
業種	製造業	2,134 (19.5)
	建設業	2,438 (22.3)
	卸・小売業	2,373 (21.7)
	サービス業	3,590 (32.8)
	その他	322 (2.9)
	無回答	96 (0.9)
従業員規模	5人以下	4,928 (45.0)
	6~10人	2,023 (18.5)
	11~20人	1,660 (15.2)
	21人以上	2,224 (20.3)
	無回答	118 (1.1)

令和3年度		社数(占率)
全体		7,946 (100.0)
業種	製造業	1,416 (17.8)
	建設業	1,815 (22.8)
	卸・小売業	1,732 (21.8)
	サービス業	2,675 (33.7)
	その他	211 (2.7)
	無回答	97 (1.2)
従業員規模	5人以下	3,711 (46.7)
	6~10人	1,474 (18.6)
	11~20人	1,111 (14.0)
	21人以上	1,536 (19.3)
	無回答	114 (1.4)

# 調査結果 がん検診の受診率と実施率

## 経営者自身のがん検診受診率

**設問** ご自身が直近2年間に受診したがん検診について、該当する番号にすべて○をつけてください。  
 ※人間ドックや健康診断で複数の検診を受診されている場合は、該当する番号すべて○をつけてください。  
 (1～5：国が推奨するがん検診、6：独自に実施する企業・自治体が増加)

回答選択肢

1. 胃がん検診（胃部エックス線検査、内視鏡検査）
2. 大腸がん検診（便潜血検査、大腸内視鏡検査）
3. 肺がん検診（胸部エックス線検査、細胞診）
4. 乳がん検診（マンモグラフィ）
5. 子宮頸がん検診（視診、細胞診、内診）
6. 前立腺がん検診（PSA（採血）検査）
7. その他の検診
8. 受診していない

n数	令和2年度		令和3年度	
	全体	小規模事業者	全体	小規模事業者
1. 胃がん検診	53%	49%	49%	45%
2. 大腸がん検診	49%	46%	44%	40%
3. 肺がん検診	41%	39%	36%	33%
4. 乳がん検診	46%	45%	42%	40%
5. 子宮頸がん検診	42%	42%	38%	36%
6. 前立腺がん検診	19%	17%	19%	16%
7. その他の検診	11%	11%	11%	11%
8. 受診していない	27%	30%	29%	32%

## 会社としての実施率

**設問** 会社が従業員に対して直近2年間に実施したがん検診について該当する番号にすべて○をつけてください。

回答選択肢

1. 胃がん検診（胃部エックス線検査、内視鏡検査）
2. 大腸がん検診（便潜血検査、大腸内視鏡検査）
3. 肺がん検診（胸部エックス線検査、細胞診）
4. 乳がん検診（マンモグラフィ）
5. 子宮頸がん検診（視診、細胞診、内診）
6. 前立腺がん検診（PSA（採血）検査）
7. その他の検診
8. 実施していない
9. 会社としては実施していないが、個人でがん検診を受診するよう推奨している

※小規模事業者は中小企業庁の定義を用いて、以下の通り分類した。

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業・サービス業	従業員5人以下

n数	令和2年度		令和3年度	
	全体	小規模事業者	全体	小規模事業者
1. 胃がん検診	32%	27%	27%	23%
2. 大腸がん検診	28%	24%	23%	20%
3. 肺がん検診	25%	22%	22%	18%
4. 乳がん検診	17%	13%	13%	10%
5. 子宮頸がん検診	14%	11%	10%	9%
6. 前立腺がん検診	6%	5%	5%	4%
7. その他の検診	7%	7%	6%	5%
8. 実施していない	51%	55%	29%	31%
9. 会社としては実施していないが、個人でがん検診を受診するよう推奨している	-	-	27%	28%

※バイアスへの懸念から、経営者の検診受診や会社としての検診実施に関して、無回答の対象者は受診/実施していないものとして受診率/実施率を算出した。

# 調査 / 調査票に関する補足

## 企業アクション調査について

回答率が下がることへの懸念から、できるだけ簡潔な調査票作成を重視している。受診率の調査にあたっては、国が推奨する5つのがん検診の、企業・団体の受診率の記入にとどまる。調査の大きな限界として以下2点が挙げられる。

- 企業・団体毎の検診対象者数、検診受診者数の実数調査は行っていない。
- それぞれのがん検診で行われている検査項目についての調査は行っていない。

本報告の企業・健保の受診率の算出にあたり、企業・団体毎の各検診受診率を、被保険者数の実数で重み付けをして平均の受診率を算出している。そのため、実際の受診率と乖離している可能性がある。

## 大同生命サーベイについて

①経営者のがん検診受診率は以下のように算出している。

- ・胃がん / 大腸がん / 肺がん / その他の検診 / 受診していない⇒経営者（男女合計）の平均値
- ・乳がん / 子宮頸がん⇒経営者（女性のみ）の平均値
- ・前立腺がん⇒経営者（男性のみ）の平均値

②企業のがん検診実施率は、すべての平均値として算出している。

①②により、経営者や企業に各がん検診対象者がいない場合でも、受診率や実施率の分母には組み込まれており、見かけ上平均値が押し下げられている可能性がある